



幅広く法律を学べるところに魅力

進路選択時、当初は法学部に進学したいと考えていました。法律系の学部を調べる中で、富山大学の経済学部は法律と経済のどちらも学べることを知りました。実家から通えることに加え、幅広く法律を学べるところに魅力を感じました。

自ら動いてチャレンジ

富山大学の経済学部に進学しようと思ったのは、色々なことを経験したいと思ったからです。富山大学は他学部の授業も履修できるので、芸術文化学部や人文学部の授業を受け、知見を広げることができました。サークル活動では「とやま広報部」と「富大祭運営委員会」に参加していました。富大祭では、制作部という広報担当になりました。デザイン編集ソフトのIllustratorも使ったことがありませんでしたが、自ら調べ試行錯誤しているうちに少しずつ使い方を覚え、リーフレットを作れるまでになりました。

「Toyama Leaflet Project」に参加

私は授業で地域観光資源の活用促進について学んでいました。授業の中で「Toyama Leaflet Project」に参加しました。「楽しそう、是非やってみたい！」と思い、自ら手を挙げ、完成させました。リーフレットはJR西日本の社員からの依頼に基づくもので、A4サイズのZ折で5000部を刷り、JR富山駅新幹線改札口に設置されました。この活動について、富山県の地方新聞の北日本新聞に記事として取り上げていただき、とても嬉しかったです。

約1年かけて富山駅周辺のオススを模索

リーフレット制作では、JR西日本の若手社員と富山大学の学生あわせて10人で、富山駅周辺に特化した情報を集めることになりました。プロジェクトリーダーとして、社会人との日程調整などで難しさを感じることもありました。

収集した情報が正しいか、文章が間違っていないかなども細かく見る必要があり、何度も手直しをして約1年の制作期間になりました。

学生だけのプロジェクトではないので、より責任も大きく成長の機会につながったと感じました。



母校の後輩へ

高校生活において無駄なものは何一つありません。あの時の経験があったからと思えることばかりです。何事にも全力で取り組み、自分を信じて最後までやりきることが出来れば、春には綺麗な桜が見られます。今までの自分を信じて粘り強く頑張ってください。